

令和2年度 安全啓発活動委託事業 報告まとめ

実践された内容と成果について

1 各市町において、それぞれに特徴ある活動を行うことができた。

活動内容は大きく三つに分類できる。

(1) 安全教室等の開催

- ・交通安全教室 ・自転車教室 ・不審者対応教室
- ・水上安全教室 ・防災講演会

(2) 備品、消耗品等の購入、作成配布

○災害時の避難対応

- ・熱中症指数計 扇風機 ・非常用ランタン 懐中電灯 備蓄用乾電池 土嚢袋 等の購入
- ・「水害時のハザードマップ」の印刷、配布

○防犯対策

- ・防犯用表示札作成、配布 ・車載用パトロール表示札印刷 ・防犯ベスト、防犯ブザー購入
- ・集団下校での集合ポイント用コーン設置 ・「危険」看板、注意喚起看板の設置

○交通安全対策

- ・駐車場表示板 大型横断旗 等の製作 「飛び出し注意」看板の設置
- ・安全指導用腕章、誘導棒の購入 拡声器、トラロープ等の補充
- ・見守り隊のベスト、帽子、夏用ベスト購入
- ・ランドセルカバー配布（小学校新一年生） 蛍光反射シール
- ・自転車ヘルメット着用啓発ポスター、リーフレット作成、配布（学校、公共施設、各家庭）

(3) 感染症予防対策

- ・手指消毒用自動噴霧器購入 ・非接触型体温計購入 ・手指消毒液購入
- ・パルスオキシメーター購入
- ・家庭教育講演会のWEB 配信費用の一部

(4) その他

- ・「ネットルール」をプリントしたクリアファイル作成、全児童生徒に配付
- ・熊対策用グッズの購入 イノシシ防除用ネットの購入

2 成果

○保護者・地域、教職員、児童生徒の安全に対する意識が高まった。

○地域、保護者の要望に添った活動を実施することができた。（備品等の購入も含めて）

○感染予防の意識が高まった。

- ・基本的な交通ルールの確認と安全な行動を学ぶことができ、実践につながった。
- ・プールや海での安全、プール開放のための監視員としての役割、対処法を学ぶことができた。
- ・生徒の熱中症予防に役立った。
- ・見守り活動に対する当事者意識が高まった。
- ・避難所の実際の活用はまだであるが、備えができ、安心感が増した。
- ・大型旗は認識しやすく、横断歩道での徐行運転、停車台数が増した。
- ・通学路、駐車場等での安全確保に役だった。
- ・「水害時のハザードマップ」をもとに家族で話し合うことができた。
- ・会場の密を避けることができた。会場に行けない会員より感謝の声があった。
- ・自転車ヘルメット着用率が向上した。
- ・ネットに対する意識が高まった。
- ・巡回パトロールを強化したことで、熊に出くわしたり、被害に遭う事例はなかった。
- ・防除柵設置で、イノシシの校地内侵入を防いだ。